

地方創生SDGs課題解決モデル都市選定基準(評価項目と評価・採点方法)

地方創生SDGs課題解決モデル都市の対象として選定する際に使用する基準。

I. 事務局による整理(外形要件等)

| 評価項目 | 評価・採点方法 | 評価・採点の視点 |
|-------------------------|---------|---|
| 申請内容 | | |
| 地域概要及び地域における課題 | ○× | ・評価、採点に必要な事項が記載されているか ・過度に冗長な表現となっていないか |
| 経済・社会・環境の3側面 | ○× | ・3側面の各側面について記載されているか |
| 専門家とのマッチング | ○× | ・専門家とマッチングが成されているか |
| 外形及び制度面等に係る事務局整理 | | |
| — | 意見 | 【申請内容について】 ・募集要領等の内容に則した提案か ・記載内容が十分か、または、記載内容の説明が十分か |

II. 自治体SDGs推進評価・調査検討会による評価

| 評価項目 | 評価・採点方法 (合計50点) | 評価・採点の視点 |
|--------------------|---|--|
| 1 申請内容 | | |
| 1 地域概要 | | |
| (1)地域概要 | 配点なし | ・様々な歴史的経緯や立地条件、人口、産業経済等を踏まえ、地域の課題や特性、資源等を把握しているか ・他の自治体と比較して優位な側面や劣った点を把握しているか |
| 2 課題内容 | | |
| (1)SDGsとの整合性 | 0～10 | 地方創生SDGsの理念に沿って、持続可能性を目指す取り組み課題であるか。 |
| (2)深刻度 | 0～10 | 都市にとって重大な課題であり、都市機能や資産への著しい損害や住民の生活継続への障害など、都市の持続に深刻な影響を及ぼすもの、あるいは既に深刻な段階に進んでいるものであるか。 |
| (3)喫緊度 | 0～10 | 都市にとって迅速な解決が求められる課題であり、直ちに対処しなければ社会機能等の改善や回復ができなくなる、または、対応が遅れるほど加速度的に修復等が困難となるものであるか。 |
| (4)共通性・モデル性 | 0～10 | 課題が他都市との共通性を有しており、事業実施後にモデル事例として展開が見込めるものであるか。 |
| 3 事業内容 | | |
| (1)実現可能性 | 0～10 | 解決が見込める課題であるか。また、課題に対し適切な専門家が選任されているか。 |
| 2 委員による参考意見 | | |
| 特に注目すべき事項に関するコメント等 | (地方創生SDGs課題解決モデル都市として選定すべき特段の理由がある場合は右欄に記入) | — |